

創立 1964年 6月16日
 認証 1964年10月19日
第2510地区 第11グループ



創立40周年
2003~2004
 Hakodate North R. C.

The Weekly Report of
函館北ロータリークラブ会報



2003~2004年度
 R.I.会長
 ジョージ・B. マライア
 国際ロータリーのテーマ
『手を貸そう!』

四つのテスト

1. 真実か どうか
2. おひねりに公平か
3. 好感と友情を深めるか
4. みんのためになるか どうか

北村 祐治 会長 テーマ『YES, I DO!』さあ、行動しよう!



3月3日卓話 星野 勉氏

《第1958回例会》 第34号 3月10日(水)

本日のプログラム

「クラフアッセンブリー」

★会長 北村祐治(幹事) ★幹事 柴崎 晃

例会場 函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
 例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 事務局 函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3970

北海道新聞 佐々木販売所

〒040-0072 函館市亀田町2-0番1-5号
 TEL(0138) 42-5442

(広告掲載：佐々木 公和 会員)

函館北ロータリークラブは web(ホームページ)を公開しております。

http://www.hakodate-north.org/
 e-mail: rtr@rotary@hakodate-north.org

2003 - 04年度 函館北ロータリークラブの事業目標

1. 一般社会の健全化——創立50周年に向けて
2. 親睦「心」の方でつながる「心」2003年9月21日創立記念式典・懇談会が最大の「親睦の日」
3. 奉仕——*地域社会・市入交通安全課(130036)の積極(記念奉仕)活動
 ロータリーによる新世代への教育前後・徳の育成を目指す。
 *国際奉仕：国際奉仕活動の「字」を育てる
 *子供・家庭・職業奉仕委員会を通じて地域社会に貢献する——

4. インターネット・コミュニケーション委員会を設け、20名に定められます。
 *北海道では、一万円の奉仕の価値が10倍、二十倍に定められます。
 *R.I. 3400地区(インテラ・ネット・プロジェクト)の活動を奨励する。」「
 の図書室の整備のため、本館・机・本1500冊などの物品を寄贈する。」「
 会員企業の情報交換に貢献する。
 5. 友人の活動に好意を示し、友人の成長を願って、「字」を貸しましょう。——
 ——for Rotary's international vision!
 ——for Rotary's international vision!

◎2月18日出席報告

会 員	39名	出席率対象会員		38名
		出席	規定免除会員	
当日出席	26名	当日欠席	1名	12名
他クラブ出席	5名	出席合計	31名	
出席率				83.78%

・テレビオンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・3月17日
 プログラム

卓話「函館雑感」
 石田務務管理事務所 所長 石田 勉 氏

◎司会 北村 祐治 会長

◎斉唱 君が代、それこそロータリー、四つのテラスト

◎ゲスト ホシノマネジメントシステム社長 星野 勉氏
函館北.R.C.奨学生 梅村 郁恵 さん

◎ピジター 函館R.C.中山浩一君、函館亀田R.C.安達智紀君、
函館五稜郭R.C.伊藤隆義君

◎委員会報告

●クラフ奨学委員会 石橋 輝夫 委員長
奨学生の梅村さんが来ております。ご挨拶をお願いします。
(梅村郁恵さん挨拶)

今年3月に函館高専を卒業します。5年間函館北.R.C.の皆様には大変お世話になりました。これからは堂蘭工大に進んで土木について勉強したいと思っています。永い間ありがとうございました。

◎幹事報告 柴崎 晃 幹事

○函館五稜郭R.C.3月19日の例会は夜間例会に変更です。
○例会終了後理事会を開催致します。

◎親睦活動委員会 青山 栄一 委員

ニコニコBOX投入報告

北村 会長……今日はひな祭りです。
柴崎 幹事……月初めです。
小笠原委員……BOXに協力。
中野 委員……今日はひな祭りです。
増田 委員……月初めです。
松見 委員…… ” ”
数下 委員…… ” ”
斉藤 委員…… ” ”

高野 委員……ゲストスピーカーを歓迎して、

野田 委員……月初めです。

茂木 委員……月初めです。

山下(御)委員…… ” ”

南木 委員……誕生日です。

新 委員……月初めです。

青山 委員…… ” ”

竹谷 委員……今日は桃の節句です。

千葉 委員……月初めです。

大谷 委員…… ” ”

中川 委員…… ” ”

◎卓話 「間違いだらけのISO」 ホシノマネジメントシステム社長 星野 勉氏

現在、私はISOを中心として経営コンサルティングをしています。
なぜ、今ISOか？ 第二の人生をISOにかけてみようと思う。
ISOを取得しませんか、と話して見ると約9割の方が、お金がかかる、難しいと断られる。なぜそういう現象なのか。間違ってるから。現在のISOとは、端的に言うと、世界137ヶ国が決めたルールです。現在、私達の回りに沢山あります。例えば、「ネジ」が良い例です、どの国でもちゃんと合いますね、他に、非常口のカンパン、車のタイヤ・CDROM等です。
ISOには次のシリーズがあります。

- ① ISO 9000 経営上のルール・方針を決める
- ② ISO 14000 いかに関境に適合するか
- ③ ISO 18000 労働安全マネジメントシステム
- ④ HACCP(ハセツツ) 食品労働マネジメントシステム
- ⑤ ISNS 情報セキュリティマネジメントシステム

私は、①と②の審査員資格をもらっている。
ISOは経営として当たり前の事を当たり前に行うことである。
PDCAサイクルというのがある。

P→プラン(計画) D→実行 C→チェック A→アクション(分析して見直す)
これをルールとして決めるのがISOである。

例えば、文庫の管理→必要なのは何か、どこに保管しているか
いつ廃棄するか
苦情処理→お客さんから苦情があったら誰に報告するか
誰が事に当たるのかをルールとして決める
以上、ISOの説明です。3名以上の会社なら誰でも取得できます。
ISOを取得すると、その会社が信用され、ひいては業績向上に役立ちます。

(会報担当者：増田 定雄 委員長)